

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2017年5月27日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

改善のために、たたかいでつくらせた現制度を学ぶ

新婦人道本部 『くらしに役立つハンドブック』をつかって学習会

くらしがますます大変になっています。新婦人の会北海道本部が行っている「医療・介護の困りごとは何ですか」アンケートでも、道内各地から1500人以上の人から、切実な声が寄せられています。

道内各地の新婦人の会で、医療・介護制度の改善をさめさせ改善させるとりくみの推進や役に立つ制度を活用するために、道社保協発行の『道民のくらしに役立つハンドブック』の普及と学習をすすめています。



5月26日には、新婦人道本部が、「医療や介護制度を学び、改善へくらしに役立つ制度の活用」と題する学習会を行いました。学習会では、安倍自公政権が、「社会保障は自己責任」として、医療や介護の改善の方向が説明され、驚きと怒りがひろがりました。一方、「現在の制度は、私たちの先輩をはじめ住民のたたかいでつくられたもので、活用してさらに改善させていくことなどを確認しました。

「医療・介護の困りごと」アンケートから

「年金が下がり、介護保険料・国保料が高くて大変」

「病院代が高くて安心してかかれない」

「長く入院できないの施設に移るように言われた」

「特養が少なく安い料金で利用できない」

くらしでいけない！ 医療費が払えない

切実な相談相次ぐ

SOS何でも電話無料相談



5月16日、雇用・くらし・SOSネットワーク北海道が、「くらしのSOS 何でも電話無料相談会」を行いました。

屋のテレビニュースでも紹介されたこともあり、31人から相談が寄せられました。生活相談が12件、法律相談8件、医療・介護相談5件、労働相談3件などの相談に、弁護士や司法書士、医療ソーシャルワーカー、労働・生活相談員が対応しました。

- 74歳女性 「46歳の息子が2017年5月で退職(病気がある)。その後の生活について相談」
- 67歳女性 「年金5万円、新聞配達4.5万円、バイト1万円。住宅費用(41500円)。お米も買えない」
- 70歳男性 「年金少ない。所持金100円。保険料滞納し、2017年3月資格証明書。高血圧196-110。夫婦月22万円の年金。息子夫婦5人世帯。無職。」
- 女性 「タクシー運転手をしている弟(60代)ががんの治療費の支払い大変。本人の手取りは月8万円くらい」

7・25 くらしのSOS 何でも電話無料相談

10:00~17:00

フリーダイヤル 0800-080-0058



社保協総会・記念講演

「健康で文化的な生活を送るために

最低生計費試算調査結果について」

講師 黒沢 幸一氏(道労連議長 道社保協副会長)

日時 6月17日(土) 14時から

場所 かでる2.7 710会議室